専門家を上手に活用する！

会社を笑顔にする！ ―ITコーディネータの仕事

中小企業IT経営力大賞2013 受賞企業を支援したITコーディネータの姿とは？

本誌で紹介する機会の多い専門家、ITコーディネータ。経営に役立つIT活用を支援する経済産業省推進の資格である。

資格取得者の活動は多岐にわたっているが、本誌読者に一番近いのは、独立したコンサルタントとして地域で企業支援を行っているITコーディネータであろう。

情報システムに関する専任の担当者を置きにくい中小企業にとって、IT活用の戦略立案やサービスの選択、システム開発依頼、運用などを自社だけで実施するのは簡単ではない。

このような時に、サポートを依頼できるのがITコーディネータである。

ITコーディネータの活動内容や支援のきっかけはどのようになっているのだろうか。実際の仕事の様子を10～13ページの事例で紹介した二人のITコーディネータに聞いた。

共通するのは、現場に入って業務を深く理解してからITの活用に入ること、顧客企業が成果を出すために全力投球していることだ。

支援の期間は、公的支援機関の専門家派遣制度を利用して数回の訪問を依頼するケースから、生産管理システムなど大きなプロジェクトを推進する中期のもの、さらに、社外の相談役として長期にわたって支援を依頼するケースなどに分かれる。

専門家の力を上手に活用するのも経営者の仕事の一つである。会社を伸ばすためのパートナーとして上手に活用したいものである。

オフィスにて。
赤いぬいぐるみは千葉県のキャラクター「チーバくん」

Interview **鬼澤健八氏**

http://www.it-keiei.or.jp/

支援先企業の「やる気アップ」は何よりの喜び

――協和デンタル・ラボラトリーの支援では、現場の方の現状把握に重点を置いていたようですね。

鬼澤 プロジェクトの推進において、業務フロー図はできるだけ書いてもらうようにしています。私が自分で書いたほうがスピードは早いですが、腹の落ち方が違う。現状を見直していただくと、「こんなITで解決できますよ」という話も理解してもらいやすくなります。

――ぐいぐい引っ張っていくのとは少し違うのですね。

鬼澤 経営者から権限を委譲され、トップダウン風に動くコンサルもありますが、私は一人ひとりが目覚めていただける機会を提供できることを重視しています。

――仕事は1社あたりどのくらいの期間ですか。

鬼澤 独立してから80社近くを担当させていただいていますが、公的機関の専門家派遣制度などで目的を絞って数回実施するものから、数年続いている企業まであります。

訪問密度にもよりますが、3カ月くらい経つと、私のやり方をご理解いただけるように思います。

――どのような点に仕事の面白さを感じますか。

鬼澤 支援先から感謝されることが一番の喜びです。経営者の方から感謝の言葉をいただいたり、プロジェクトの過程で従業員の方の目が輝いてくるのを見るのは大変うれしいです。

Interview **坂田岳史氏** http://itkeiei.org/

結果を出し続けることが次のコンサルを生む

愛用のバイクにて

――坂田さんは「IT経営コンサルタント」と名乗っていらっしゃるのですね。

坂田 中小企業診断士、ITコーディネータ、ITストラテジストの資格を持っており、コンサルの場面では、スキルを統合的に利用しています。企業のIT経営を推進する場合、これらの資格は有効です。

――広瀬製作所とは京都産業21の研修会で出会ったそうですが、こうしたケースは多いのですか。

坂田 信頼を得るきっかけの一つがセミナーや研修会ですね。クラウドやFacebookの活用など研修会のテーマを具体的に展開していくために、支援機関の専門家派遣を活用したり、個別契約を結んでコンサルに入ったりすることはよくあります。

――そのほかにはどんなきっかけがありますか。

坂田 最近増えているのが金融機関や異業種のコンサルの方からの紹介です。比較的案件の規模が大きい傾向にあります。また、これまで支援したお客様からの紹介も多いです。

――支援を受けての満足度が高かったのですね。

坂田 紹介を受けた場合は100％コンサル契約が成立しています。紹介したくなるような成果を出し続けていくことが大切。常に真剣勝負です。

――その結果が支援企業の中小企業IT経営力大賞入選に結びついているのですね。

坂田 賞は目的ではありませんが、一つの目標に掲げるのは有効だと思っています。経営者の方の明確な意志があれば、成果へのお手伝いをしていきます。

――仕事のやりがいを感じるのはどのようなときですか。

坂田 システム導入で当初の経営的効果を得られた時の社長様や従業員の方の笑顔が忘れられません。皆さんの笑顔が私のやりがいと言っても過言ではありません。

Column

COMPASSの新サイト構築においてもITコーディネータの協力を得ました！

本誌掲載事例を号をまたいで検索できるようにした「全国IT経営スタジアム」がオープン。

http://itkeiei-stadium.jp/

サイト構築にあたって、コンセプトの整理とITベンダーへの依頼に関し、ITコーディネータにご協力をいただいた。

今回はポイントを絞った依頼だったが、特に頼んで良かったと感じたのが、次の3点だった。

①要件の整理と優先順位づけ
②見積りの精査
③ITベンダーとの打ち合わせ

＊同サイト内では、他の二つのポイントも含めて、漫画を使って詳しく紹介しています

ITコーディネータの活用メリットと注意点

<だから頼んだほうがよい！>

- 経営方針に即したIT戦略を立てられる
- 客観的に現状を整理できる（経営者の思いを整理できる）
- 会議への同席などを通じて、従業員の納得性を高めることができる
- 会社の状況に即したIT活用を検討できる
- プロジェクト推進のペースメーカーになる
- 利用したいシステムが適切か（選択・組み合わせ）アドバイスが得られ、失敗の確率が下がる
- ITの知識不足を補うことができる（Webの活用、SNSの活用など）　など

<依頼前のチェックポイント例>

- 使いたいITや業種が得意分野か
- 最近のIT動向に詳しいか
- 会社のことを理解しようという姿勢があるか
- 専門家どうしのネットワークを持っているか　など

➡ **セミナーや交流会などで一度接点を持ってから依頼するのもお勧め**